

東海学院大学・東海学院大学短期大学部公開講座 2023

「にこやかに生きる ～大学は知の宝庫～」

第5回 11/24 (金) 13:30～15:00 報告

定期検診は病気につながるリスクの早期発見

講師 佐藤 恵彦 (本学講師)

於：図書館大セミナー室

◆◆◆◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*

本日（令和5年11月24日）の公開講座は東海学院大学・東海学院大学短期大学部 公開講座 2023 「にこやかに生きる～大学は知の宝庫～」の第5回目となります。

今回の講座では本学健康福祉学部管理栄養学科講師であります佐藤恵彦先生に「定期検診は病気につながるリスクの早期発見」と題して講演をしていただきました。

おそらく、講座に参加された方々も今までに、一度は検診を受けられているのではないかと思います。その検診結果を見るにあたっての注意すべき点等を詳しく、そしてわかりやすく説明をしていただきました。

まず、採血して返却された際、検査結果とともに記載されている基準値について、病院など医療機関の基準値と人間ドック学会による健診の基準値とでは同一ではなく注意が必要である事、またその基準値とは、一体どの様にして決められ、どの様な意味があるのか・・・さらには同一人物であっても、採血する際の時間（日内変動）や食事、体位など様々な生理的変動要因の影響を受ける場合もあるため、同じ条件でなければ値が変動する可能性があり、前回値と比較する場合には注意が必要である事などについて詳しく説明していただきました。

そして、採血後に知らされる検査結果については検査項目ごとに結果をどのように解釈すると良いのか、具体的かつ明瞭に説明をしていただきました。

講演の内容は多岐にわたっており、大変興味深く拝聴することが出来ました。

参加者の方々の中には熱心にメモを取られている方も多数見受けられ、いざ、採血をして、その検査結果を返されても、どのように解釈すればよいのか、また誰かわかりやすく教えてもらえたら・・・等々、多くの方々が今まで抱いていた不安や疑問点の解消に多少でもお役に立ったのではないかと思います。

予定の講演終了時刻近くなっても、講演はまだまだ続きそうでしたので、規定の時間が来てしまったのは大変惜しまれましたが、今後、検査結果を正しく解釈し、その後の健康維持を図るのに大変参考になる内容であったと思います。

【講座の様子】

